

2. 流域治水プロジェクト2.0の更新

流域治水プロジェクト2.0

～流域治水の加速化・深化～

- 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させる。このために必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新する。

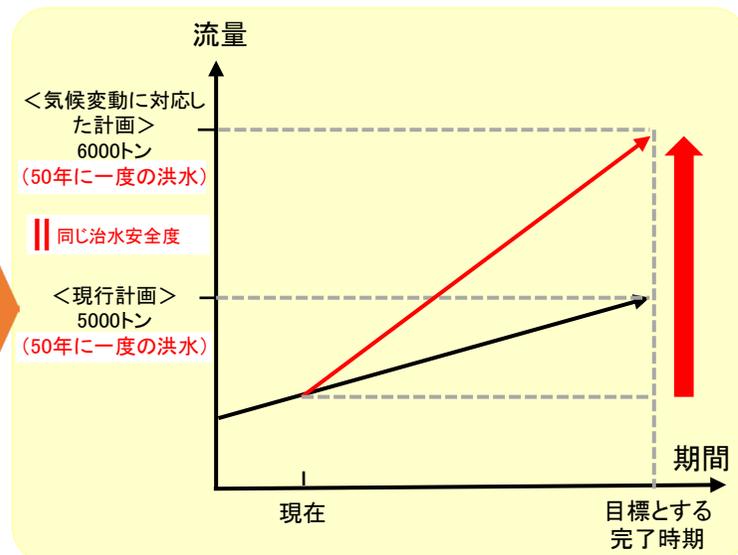
現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
- 現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

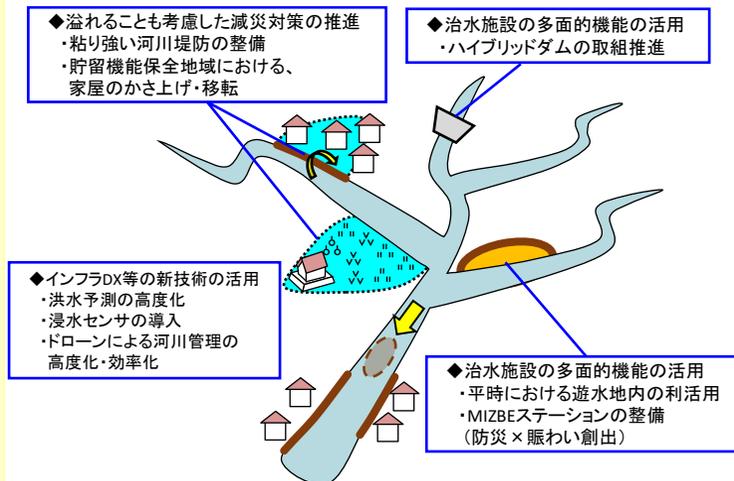
必要な対応

- 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

必要な対応のイメージ



様々な手法の活用イメージ



降雨量が約1.1倍となった場合

気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模)
2℃上昇	約1.1倍

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量
	約1.2倍

同じ治水安全度を確保するためには、
目標流量を1.2倍に引き上げる必要

※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、
様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要

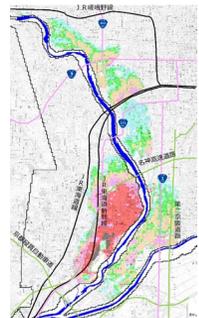
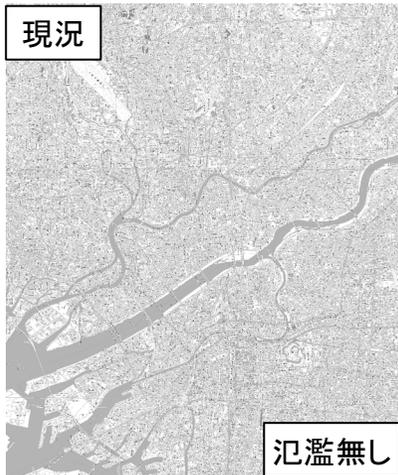
⇒現在の河川整備計画に基づく対策や流域における各取組を推進するとともに、気候変動を踏まえて追加で必要となる対策案の詳細については、更に議論を深めていく。

気候変動に伴う水害リスクの増大

○気候変動による降雨量増加後の河川整備計画目標洪水が発生した場合、淀川流域(大阪府)では浸水被害は発生しない。
(『淀川水系河川整備計画(変更)令和3年8月』は気候変動による降雨量増加を考慮。)

■気候変動に伴う水害リスク

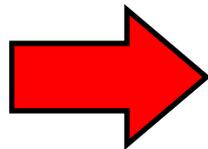
国管理区間からの外水氾濫による浸水範囲・浸水家屋数



<参考>上流(桂川)の浸水範囲

河道:R2末時点
外力:
桂川 平成25年台風18号洪水
宇治川 平成25年台風18号洪水
木津川 昭和28年台風13号の降雨量1.1倍以上の洪水

【目標①】
KPI: 浸水家屋数
0戸数 ⇒ 0戸数



対策後

※上流改修を実施した場合においても現況の治水安全度を堅持するため、必要な対策を実施することで浸水被害は発生しない。



<参考>上流(桂川)の浸水範囲

河道:整備計画完了時点
外力:
桂川 平成25年台風18号洪水
宇治川 平成25年台風18号洪水
木津川 昭和28年台風13号の降雨量1.1倍以上の洪水

河道:R2末時点
外力:現行河川整備計画の目標流量(気候変動考慮)

<現状・気候変動考慮>

河道:整備計画完了時点
外力:現行河川整備計画の目標流量(気候変動考慮)

<対策後>

■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後の整備計画目標洪水に対する安全の確保

淀川本川:0.0k~37.0k

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
減らす 氾濫を防ぐ、被害を減らす	国	計画規模洪水を安全に流下させる	河道掘削(淀川):240万m ³ 橋梁架替	概ね30年
減らす 被害を減らす	大阪府	土砂災害の危険から住宅を守る	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	概ね20~30年
	高槻市 枚方市 八尾市	水害リスクを踏まえたまちづくり及び居住誘導区域内の防災・減災対策による居住者の命を守る	立地適正化計画の見直し及び防災指針の策定 計画等に基づく対策の実施	-
早期復旧・復興 被害の軽減	国	土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討	多段階の浸水想定図(浸水頻度毎の浸水深図)及び水害リスクマップ(浸水深毎の浸水頻度)の整備	-
	淀川(大阪府域)分会 全18市町	円滑かつ迅速な非難の確保	要配慮利用施設の避難確保計画作成の促進と、避難訓練実施支援	-

【目標②】特定都市河川(寝屋川)流域において1/30規模降雨の洪水・1/10雨水出水による浸水被害を防止

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
減らす 氾濫を防ぐ、被害を減らす	大阪府	洪水を安全に流下させる	地下河川、流域調整池、遊水池、河川整備等	概ね20年~30年
	寝屋川流域市(12市)	浸水の防止・軽減	雨水貯留浸透施設等の整備	
減らす 被害を減らす	大阪府	貯留機能の保全 新たな住居に対し、立地を規制する 居住者の人命を守る	貯留機能保全区域、浸水被害防止区域等の指定 (流域水害対策計画の変更)	-

【目標③】高槻市重点地区における内水被害の軽減
(下水道計画規模降雨以上の雨水出水による浸水被害を軽減)

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
減らす 氾濫を防ぐ、被害を減らす	高槻市(下水道)	重点地区(市内の浸水多発地区)の浸水被害の最小化	雨水貯留浸透施設整備 雨水幹線整備	概ね10年

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会 【位置図】

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

○淀川水系の大阪府域(国管理区間)は、淀川本川における現況の安全度を堅持するため、京都府区間の気候変動(2℃上昇時)の影響等を踏まえた旧整備計画の目標洪水の降雨量を増大した洪水を安全に流下させた場合においても、計画規模洪水を安全に流下させることを目指す。

○これまで、平成25年台風18号等による被害をふまえ、平成21年に策定した河川整備計画に位置づけたメニューを大幅に進捗してきたが、気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法(以下、「法」)の適用を検討し、さらなる治水対策を推進する。

- 凡例**
- 灰色着色: 対策完了
 - 堤防整備・河道掘削等
 - ⋯ 雨水幹線、貯留浸透施設等
 - 砂防事業
 - ポンプ場の増強等
 - 拡充された治水対策

- リスクマップ凡例**
(現況・浸水深0.5m以上)
想定される浸水範囲
- 高頻度(1/10)
 - 中高頻度(1/30)
 - 中頻度(1/50)
 - 中低頻度(1/100)
 - 低頻度(1/150)
 - 想定最大規模

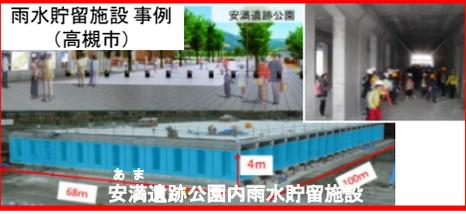


※流域治水プロジェクト2.0で更新した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 高規格堤防整備、築堤、堤防強化
 - 河道拡幅・掘削、橋梁架替
 - 護岸、落差工改築・撤去
 - 砂防事業、森林整備及び保全
 - 閘門新設、水門改築、施設耐震補強
 - 高架橋緊急避難場所確保
 - 河川防災拠点整備、河川防災ステーション整備
 - ダム建設、ダムの堆砂除去
 - 事前放流等の実施・体制構築
 - 地下河川、流域調節池、遊水地
 - 下水道等、農業用施設の排水施設整備・改修・修繕・更新
 - 雨水貯留浸透施設の整備
 - ため池の治水活用
 - 法指定による雨水浸透阻害行為の規制、貯留機能保全区域の指定
 - 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- 土地利用誘導
 - 水害リスクマップの作成
 - 開発行為に対する流出抑制対策指導
 - 法指定による浸水被害防止区域の指定 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 洪水ハザードマップ作成・更新
 - ため池ハザードマップ作成
 - 防災教育・啓発活動等の推進
 - 分かりやすい防災気象情報の提供
 - 要配慮者利用施設における避難計画の策定支援
 - タイムラインの作成・運用
 - 広域避難計画策定
 - 舟運による早期復旧等
 - VR・AR等を用いた情報発信
 - 三次元河川管内図の整備
 - 排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化
 - マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの策定支援
 - ホットライン構築
 - 水位計・監視カメラの設置、監視体制の拡充
 - 河川防災ステーションの平時活用の推進
 - ゲリラ豪雨対策広域アクションプランに基づく適応策推進
 - BIM/CIMなどの適用による三次元モデルの積極的な活用 等



寝屋川流域水害対策計画変更のロードマップ

対策区分	流域関係者	工程			
		R5~R7	R8	R9~	R16
流域水害対策計画の変更	大阪府関係市町等	計画検討	計画変更	浸水被害対策の実施(区域の指定)	

※〇〇〇〇は、府・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。

※浸水リスクを示す浸水範囲については、リスクマップを公表している。淀川河川事務所管理区間のみを表示している。

※今後、関係者と合意形成を図り指定河川・流域を具体化していく。特定都市河川指定の工程等は、関係者との調整等により変更することがある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（大阪府域）分会

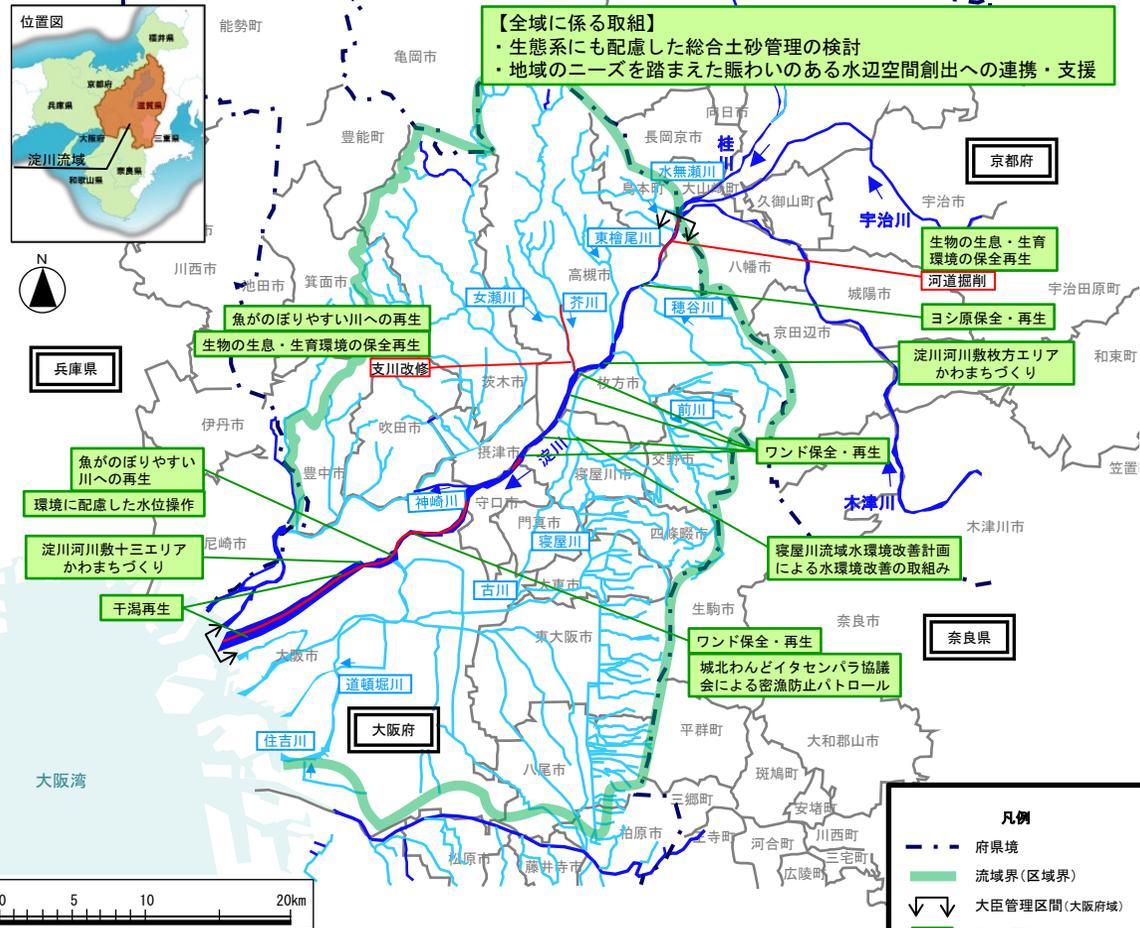
氾濫を防ぐ・減らす	被害対象を減らす	被害の軽減・早期復旧・復興
<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動を踏まえた治水計画への見直し <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・気候変動を考慮した河川整備計画等に基づくハード対策 ○流域対策の目標を定め、 役割分担に基づく流域対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・流域水害対策計画に基づくハード対策 ○あらゆる治水対策の総動員 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・寝屋川流域での地下河川及び大規模下水道幹線整備 ・流域全体における雨水貯留管や合流管渠、公共下水道施設等の雨水幹線整備・増強 また、公園や駅等の地下貯留施設やため池等の雨水貯留浸透施設の整備 ・雨水ポンプ場の整備・増強・保全 ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 ○溢れることも考慮した減災対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・貯留機能保全区域の指定 	<ul style="list-style-type: none"> ○溢れることも考慮した減災対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・高規格堤防 ・河川防災ステーション整備 ・高台まちづくり ○溢れることも考慮した減災対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・土地利用や住まい方の工夫 ・浸水被害防止区域の指定 	<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動を踏まえた治水計画への見直し <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・気候変動を考慮した河川整備計画等に基づくソフト対策 ○流域対策の目標を定め、 役割分担に基づく流域対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・流域水害対策計画に基づくソフト対策 ○多面的機能を活用した治水対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・河川防災ステーションの平時利活用の推進 ・陸上交通網の麻痺に備えた船着き場や大堰閘門整備による舟運での早期復旧 ○インフラDX等の新技術の活用 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用 ・三次元河川管内図の整備 ・排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会 【位置図】

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

●グリーンインフラの取り組み 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』

- 三川合流点より下流の淀川では、鵜殿に代表されるヨシ原、寄り洲、ワンド・たまりや干潟などの環境に応じて、イタセンバラをはじめとする魚介類、オオヨシキリや猛禽類などの鳥類、塩性植物など、多くの動植物が見られる。こうした次世代に引き継ぐべき多様な生態系を守ろうとする住民活動も活発である。
- 水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後概ね20年間でイタセンバラ等の在来種が生息するワンド・たまりを保全・再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●自然環境の保全・復元などの自然再生

干潟再生、ヨシ原保全・再生、ワンド保全・再生

●治水対策における多自然川づくり

生物の生息・生育環境の保全再生、ワンド保全・再生、魚がのぼりやすい川への再生

- ### ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- ・河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
 - ・小中学校における河川環境学習の実施
 - ・住民団体等と連携した水生生物調査の実施
 - ・城北わんどイタセンバラ協議会による密漁防止パトロール
 - ・住民と連携した外来生物駆除
 - ・環境に配慮した水位操作
 - ・寝屋川流域水環境改善計画による水環境改善の取組み
 - ・公園等賑わいの場としての活用
 - ・街路樹の更新にあわせた雨水貯留機能等の導入



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
 ※流域治水プロジェクト2.0で更新した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 淀川（大阪府域）では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
大阪府域は複数河川が貫流する低平地に形成された高度な都市構造を有し、洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがあることから、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。
【短期】計画規模洪水を安全に流下させるため、橋梁架替や河道掘削、堤防整備等と併せて、下水道施設整備や貯留浸透施設等の整備を推進する。また、淀川大堰閘門を整備することで災害時の避難や資材運搬など危機管理機能の強化を図る。安威川ダムを完成させることにより、神崎川流域の安全度向上を図る。
【中期】計画規模洪水を安全に流下させるため、阪神なんば線淀川橋梁の架替を完了させるとともに、河道掘削、堤防整備等を推進する。
【長期】大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、河道掘削、堤防整備等と併せて流出抑制対策等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	主な対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	なんば線橋梁架替完成 (淀川河川事務所)	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁架替 河川防災ステーション	大阪府、大阪市、摂津市、 淀川河川事務所	水門強靱化完成(大阪市)(R4完)	淀川大堰閘門新設完成 (淀川河川事務所)		
	地震・津波、高潮対策、閘門新設	大阪府、大阪市 淀川河川事務所				
	ダム建設	大阪府、淀川ダム統管理事務所、琵琶湖河川事務所、大戸川ダム工事事務所、水資源機構	川上ダム完成 (水資源機構)	天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所)		3大水門改築完成 (大阪府)
	砂防事業、森林整備・保全	大阪府、高槻市、枚方市				
	雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、 下水道施設増強、耐水化	大阪府、大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、 茨木市、寝屋川市、柏原市、藤井寺市、東大阪 市、島本町、四條畷市				
	排水施設整備、改修、修繕、更新	大阪府、大阪市、高槻市、枚方市、寝屋川市、 門真市、東大阪市、大東市 等				
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画・居住誘導	高槻市、枚方市、八尾市 等				
	家屋の耐水化啓発	高槻市 等				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難確保計画策定支援	大阪市、高槻市、枚方市、摂津市 等				
	ハザードマップ作成、防災教育、避難訓練 等	大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、摂津市、 藤井寺市、東大阪市、島本町、八尾市 等				
	防災気象情報の改善	大阪管区気象台				
	広域アクションプラン（ゲリラ豪雨対策）	環境省、大阪府 等				
グリーンインフラの取組	※詳細は次ページ					

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※流域治水プロジェクト2.0で更新した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

※流域治水プロジェクト2.0で更新した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
グリーンインフラの取組	生態系にも配慮した総合土砂管理の検討	近畿地方整備局	生態系にも配慮した総合土砂管理の検討		
	干潟再生	近畿地方整備局	干潟再生		
	ヨシ原保全・再生	近畿地方整備局	ヨシ原保全・再生		
	ワンド保全・再生	近畿地方整備局	ワンド保全・再生		
	生物の生息・生育環境の保全再生	近畿地方整備局	生物の生息・生育環境の保全再生		
	魚がのぼりやすい川への再生	近畿地方整備局	魚がのぼりやすい川への再生		
	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援	近畿地方整備局	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援		
	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携	近畿地方整備局	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携		
	小中学校における河川環境学習の実施	近畿地方整備局・大阪府	小中学校における河川環境学習の実施		
	住民団体等と連携した水生生物調査の実施	近畿地方整備局	住民団体等と連携した水生生物調査の実施		
	城北わんどイタセンバラ協議会による密漁防止パトロール	近畿地方整備局	城北わんどイタセンバラ協議会による密漁防止パトロール		
	住民と連携した外来生物駆除	近畿地方整備局	住民と連携した外来生物駆除		
	環境に配慮した水位操作	近畿地方整備局	環境に配慮した水位操作		
	寝屋川流域水環境改善計画による水環境改善の取組み	近畿地方整備局・大阪府・寝屋川流域市(12市)	寝屋川流域水環境改善計画による水環境改善の取組み		
	公園等憩いの場としての活用	大阪府	公園等憩いの場としての活用(治水緑地等)		
街路樹の更新にあわせた雨水貯留機能等の導入	大阪府	街路樹の更新にあわせた雨水貯留機能等の導入			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。